

令和7年度 事業報告

I 概 要.....

令和7年度は、景気の緩やかな回復を背景として、社会の動きが一段と活発化する中、当センターにおいては、特に民間事業所や家庭からの受注額が増加し、契約金額の総額は、初めて3億円を超えて3億1千206万円余と前年度（令和6年度）に比べ1,271万円、4.2%の増となった。

また、会員数、特に正会員数については、企業の定年延長や継続雇用制度の浸透に加え、雇用環境の改善などの影響はあるものの、当センターにおいては、令和7年度末で820人と前年度に比べ47人、6.1%の増となり過去最多を更新した。

こうした事業実績の維持・向上と、今後のセンター運営及び業務の改善に役立てることを目的として、「お客様満足調査・会員意識調査」を実施したほか、中央区内の都営地下鉄及び東京メトロの駅構内に就業開拓・会員募集用のポスターの掲示を行った。加えて、会員を対象にクレーム対応を含めた実践的な接客研修を実施したほか、自転車事故防止・転倒事故防止講習会の開催や、安全管理委員会による就業現場の安全パトロールの充実を図った。

今後は、こうした取組を踏まえ、公共事業はもとより、民間事業者等からの更なる受注の拡大を図り、会員への就業提供機会の拡充に努める所存である。

一方、事務事業においては、いわゆるフリーランス法の趣旨を反映した、請負・委任業務にかかる契約方式の見直しが国や全国シルバー人材センター事業協会から示されたことを踏まえ、中央区との契約において、令和8年度から新しい契約方式（発注者、会員、センター三者による包括契約）に移行するための準備を行ったところである。

今後とも、関係各位のご理解・ご協力をいただきながら、安定したセンターの運営と着実な事業の展開を図っていく。

II 事業実施内容.....

1. 就業機会の積極的な確保と提供（定款第4条第1項第1号）

（1）就業会員増強活動の推進

① 中央区広報紙等への掲載

会員の募集記事を「区のおしらせ ちゅうおう」に2回、「集合ポスター」に1回掲載するとともに、ホームページなどにより積極的な会員募集を行った。

② 個別就業相談の実施

会員対象の個別就業相談を随時実施した。

・参加者数：19名

③ 入会説明会の実施

毎月13日に予約制で実施している入会説明会において、入会の勧奨を行った。

④ ポスティングの実施

会員募集・就業開拓を含むチラシを81,300枚作成し、戸別配布を実施した。

⑤ その他

センター主催の各種講座実施の際、受講者にセンターへの入会案内を行った。また、知人からの紹介でセンターに入会する会員も多くいることから、口コミによる入会の勧奨を行った。

（2）会員の状況調べ

① 会員の入退会

（単位：人）

区 分	正会員	賛助会員	特別会員	合 計
令和6年度末	773	24	2	799
入 会	138	1	0	139
退 会	91	3	1	95
除 名	0	0	0	0
令和7年度末	820	22	1	843

② 正会員の異動

() は前年度

区 分	正会員	内 訳	
		男 性	女 性
令和6年度末	7 7 3 (7 5 3)	3 4 6 (3 3 9)	4 2 7 (4 1 4)
入 会	1 3 8 (1 2 2)	5 2 (5 3)	8 6 (6 9)
退 会	9 1 (1 0 2)	3 9 (4 6)	5 2 (5 6)
除 名	0 (0)	0 (0)	0 (0)
令和7年度末	8 2 0	3 5 9	4 6 1

(単位：人)

③ 正会員年齢別登録状況

() は前年度

年 齢	男 性	女 性	合 計
60 歳未満	0 (0)	0 (0)	0 (0)
60～64 歳	18 (13)	31 (38)	49 (51)
65～69 歳	43 (41)	108 (79)	151 (120)
70～74 歳	76 (83)	111 (109)	187 (192)
75～79 歳	141 (132)	134 (127)	275 (259)
80 歳以上	81 (77)	77 (74)	158 (151)
合計	359 (346)	461 (427)	820 (773)
平均年齢	75.7 歳 (75.6 歳)	73.9 歳 (74.0 歳)	74.7 歳 (74.7 歳)
最高年齢	89 歳 (90 歳)	93 歳 (90 歳)	—

(単位：人)

④ 正会員入会理由

() は前年度

性別	生きがい 社会参加	仲間 作り	時間的 余裕	健康維持 増進	経済的	その他	合計
男	13 (19)	0 (0)	10 (14)	13 (7)	15 (12)	1 (1)	52 (53)
女	30 (26)	0 (3)	20 (15)	13 (7)	21 (18)	2 (0)	86 (69)
合計	43 (45)	0 (3)	30 (29)	26 (14)	36 (30)	3 (1)	138 (122)

(単位：人)

⑤ 正会員退会理由

() は前年度

性別	病気 加齢	就職	死亡	転居	就業 機会 なし	会費 未納	運営に 不満	その他	合計
男	17 (21)	4 (9)	3 (3)	3 (6)	4 (4)	4 (1)	0 (0)	4 (2)	39 (46)
女	19 (26)	4 (11)	2 (2)	7 (6)	4 (4)	5 (2)	0 (0)	11 (5)	52 (56)
合計	36 (47)	8 (20)	5 (5)	10 (12)	8 (8)	9 (3)	0 (0)	15 (7)	91 (102)

(単位：人)

(3) 就業開拓の方法

① 民間受注の拡大

就業専門員が区内の企業・家庭等からの発注相談に継続的に応じるなど、民間受注の拡大を図った。

・受託件数：3, 451件(令和6年度：3, 437件)

② 就業提供の方法

未就業会員のリストを毎月出力し、その活用により未就業会員の減少を図るとともに、個別就業相談を随時開催し、会員の就業率向上に努めた。

③ 独自事業の実施

会員の就業機会を拡大するため、「写経・毛筆教室」、「パソコン教室」を区民等を対象に実施したほか、次のとおり「包丁研ぎ事業」を行った。

- ・日 程 : 第2・第4月曜日締切、金曜日渡し
- ・費 用 : 1本800円～
- ・実 績 : 135本

④ ポスティングの実施(再掲)

会員募集・就業開拓を含むチラシを81,300枚作成し、戸別配布を実施した。

⑤ 関係団体との連携

民間事業所、一般家庭、官公庁等に高齢者の就業についての理解を求めるため、各種団体との連携を密にするとともに、各種会合等、様々な機会を捉えてシルバー事業のPRを行った。

- ・中央区高齢者合同就職面接会の共催
- ・シニア生涯ワーキングセミナーの共催
- ・これからシルバー応援フェスタへの参加
- ・再就職支援セミナーへの参加

(4) 中央区からの受託事業

区との連携を図り、受注機会の拡大に努めたが、介護予防・日常生活支援総合事業については実績がなかった。

- ・暮らしの困りごとサポート 75件
- ・介護予防・日常生活支援総合事業 実績なし

(5) シルバー人材センター労働者派遣事業の実施

令和7年度は、シルバーパス事業の就業期間が去年と比べて1か月程度短くなったため、契約額が約1,068万円と、令和6年度に比べ29.6%の減少となった。

今後とも就業会員の意向を踏まえながら、受注拡大に努めていく。

(6) 適正な請負の推進

東京労働局や東京しごと財団の指導を受けながら、適正な請負契約の実施に努めた。

(7) 就業提供実績

① 請負（委任を含む）

ア 受託件数

件数	前年度比
4,013 件	39 件、1.0%の増

イ 就業実人員

人数	前年度比
634 人	70 人、12.4%の増

ウ 契約金額

契約金額	前年度比
301,374,864 円	15,886,977 円、5.5%の増
うち企業等の契約額	前年度比
124,214,644 円	12,523,067 円、11.2%の増

エ 事業計画との比較

	計画	実績	計画比
就業実人員	607 名	634 名	27 名の増
契約金額	298,152 千円	301,374,864 円	3,222,864 円の増

オ 配分金

配分金	前年度比
270,570,962 円	16,084,128 円、6.3%の増

カ 会員就業率

会員就業率	前年度比
77.3%	73.0%から 4.3 ポイントの増

キ 年齢別会員就業状況

() は前年度

年齢	男性		女性		合計	
60 歳未満	0	(0)	0	(0)	0	(0)
60～64 歳	13	(5)	21	(27)	34	(32)
65～69 歳	30	(28)	87	(63)	117	(91)
70～74 歳	59	(45)	86	(89)	145	(134)
75～79 歳	98	(94)	105	(94)	203	(188)
80 歳以上	66	(61)	69	(58)	135	(119)
合計	266	(233)	368	(331)	634	(564)
平均年齢	76.9 歳	(76.5 歳)	75.0 歳	(74.7 歳)	75.8 歳	(75.4 歳)
最高年齢	89 歳	(87 歳)	93 歳	(90 歳)	-	

(単位:人)

ク 就業実績

() は前年度

区分 発注者		契約 件数	受託 件数	就 業 実人員	就業延人員 (人日)	契 約 金 額 (円)			
						配分金	材料費	事務費	合計
公 共 事 業		119	562	-	23,923	147,879,871	3,232,784	17,129,206	168,241,861
		(105)	(537)	-	(24,921)	(142,663,279)	(3,121,524)	(18,450,033)	(164,234,836)
民 間 事 業	小 計	719	3,416	-	32,941	121,995,035	134,436	10,331,152	132,460,623
		(764)	(3,411)	-	(31,452)	(111,233,517)	(296,223)	(9,095,238)	(120,624,978)
	企 業 等	383	2,380	-	29,936	114,533,946	80,397	9,600,301	124,214,644
		(359)	(2,235)	-	(28,150)	(103,198,496)	(190,818)	(8,302,263)	(111,691,577)
家 庭		336	1,036	-	3,005	7,461,089	54,039	730,851	8,245,979
		(405)	(1,176)	-	(3,302)	(8,035,021)	(105,405)	(792,975)	(8,933,401)
独 自 事 業		4	35	-	155	696,056	72,070	-95,746	672,380
		(4)	(26)	-	(110)	(590,038)	(55,276)	(-17,241)	(628,073)
合 計		846	4,013	634	57,019	270,570,962	3,439,290	27,364,612	301,374,864
		(873)	(3,974)	(564)	(56,483)	(254,486,834)	(3,473,023)	(27,528,030)	(285,487,887)

ケ 職群別会員就業実績

() は前年度

区分 職群	公共事業		民間事業		独自事業		合計	
	延日 人員	配分金(円)	延日 人員	配分金(円)	延日 人員	配分金(円)	延日 人員	配分金(円)
技術	23 (23)	113,850 (113,850)	734 (657)	4,595,977 (3,878,880)	132 (81)	531,086 (307,078)	889 (761)	5,240,913 (4,299,808)
技能	4 (7)	87,500 (73,500)	263 (93)	1,820,034 (571,171)	23 (29)	164,970 (282,960)	290 (129)	2,072,504 (927,631)
事務	2,723 (2,630)	13,590,080 (12,860,082)	3,255 (3,129)	20,703,199 (19,476,640)	0 (0)	0 (0)	5,978 (5,759)	34,293,279 (32,336,722)
管理	18,301 (19,298)	123,661,088 (118,774,841)	1,791 (1,789)	5,627,568 (5,361,118)	0 (0)	0 (0)	20,092 (21,087)	129,288,656 (124,135,959)
折衝 外交	0 (0)	0 (0)	400 (410)	2,080,370 (2,039,332)	0 (0)	0 (0)	400 (410)	2,080,370 (2,039,332)
一般 作業	496 (464)	2,751,470 (2,894,498)	21,972 (21,150)	73,168,624 (68,627,805)	0 (0)	0 (0)	22,468 (21,614)	75,920,094 (71,522,303)
サー ビス	2,376 (2,499)	7,675,883 (7,946,508)	4,525 (4,221)	13,979,263 (11,256,071)	0 (0)	0 (0)	6,901 (6,720)	21,655,146 (19,202,579)
その 他	0 (0)	0 (0)	1 (3)	20,000 (22,500)	0 (0)	0 (0)	1 (3)	20,000 (22,500)
合計	23,923 (24,921)	147,879,871 (142,663,279)	32,941 (31,452)	121,995,035 (111,233,517)	155 (110)	696,056 (590,038)	57,019 (56,483)	270,570,962 (254,486,834)

② 労働者派遣

シルバー人材センター労働者派遣事業の受注を行った。

() は前年度

区分 発注者	契約 件数	受託 件数	就業 実人員	就業延 日人員	契 約 金 額 (円)			センター受取 事 務 費
					賃金	事務費	合計	
民間 企業	40 (39)	93 (90)	55 (55)	1,564 (2,207)	8,206,960 (10,626,434)	2,481,359 (3,229,176)	10,688,319 (13,855,610)	1,217,446 (1,549,054)

※注 契約件数の記載方法

(原則3カ月ごとに1契約として記載する。ただし単発事業については1事業1契約とする。)

2. 就業に必要な知識・技能を付与する講習等の実施（定款第4条第1項第2号）

（1）独自研修の実施

① 接遇マナー研修

令和7年度は、全国のシルバー人材センターにおいてマナー研修を担当している渡辺久美子氏を講師に迎え、クレーム対応を含む実践的な接遇研修を開催し、利用者や区民と接する機会のある会員を中心に177名が受講した。

② 家事援助講習

家庭からの受注拡大に向け、会員対象の家事援助講習を実施した。今後の就業に備え、19名の会員が受講し、心構えや技術について学んだ。

（2）講座の開催（独自事業として実施）

受講者に受講料・教材費の負担を求め会員が講師となって開催した。また、令和3年度から、中央区民カレッジとの連携講座としている。

① 毛筆教室（原則60歳以上の区民等を対象）

コース名	日程	年間回数	受講人数	内容
毛筆教室	10日	2回	22人	小筆を使い、書道の基本を指導

② 写経・毛筆教室（原則60歳以上の区民等を対象）

コース名	日程	年間回数	受講人数	内容
お試しコース	3日	2回	18人	写経の基礎を学び「般若心経」を書き写す
継続コース	5日	2回	18人	継続的に「般若心経」を書き写す

③ パソコン教室（原則60歳以上の区民等を対象）

コース名	日程	年間回数	受講人数	内容
Wordを使ってみよう	6日	3回	10人	ワード文書の装飾の仕方など

コース名	日程	年間 回数	受講 人数	内容
Excelを使ってみよう	6日	4回	14人	表計算や計算の仕方など
便利なインターネット	3日	1回	2人	インターネットの検索方法など
写真データのすっきり 整理と活用法	3日	3回	15人	写真データのパソコンでの整理・編集など
初めてのパソコン	3日	2回	7人	パソコンの基本操作など
Wordで季節のはがき作り	6日	1回	2人	暑中お見舞いや年賀状の作成、印刷方法など

(3) 研修会への参加

① 中央区の研修・講習

- ・交通安全講習会(オンライン受講)…………… (職員8名、就業専門員4名 参加)

② 東京しごと財団の研修・講習

[役員対象]

- ・経営管理 ―シルバー人材センターによるリスクマネジメント―…………… (役員1名 参加)
- ・クレーム対応(ハードクレーム)…………… (役員1名 参加)

[会員対象]

- ・パソコンインストラクター養成…………… (会員1名 参加)
- ・生活支援サービス研修(調理)第一回…………… (会員1名 参加)
- ・包丁研ぎ(第一回)(第二回)…………… (会員5名 参加)
- ・生活支援サービス研修(家電・洗剤)第一回…………… (会員1名 参加)
- ・植木の基本と応用…………… (会員1名 参加)
- ・ハウスクリーニングⅡ(第一回)…………… (会員2名 参加)
- ・ハウスクリーニングⅡ(第二回)…………… (会員1名 参加)
- ・ハウスクリーニングⅢ(第一回)…………… (会員2名 参加)
- ・ハウスクリーニングⅢ(第二回)…………… (会員3名 参加)
- ・ステップアップ接遇Ⅰ(施設管理・利用者対応)…………… (会員2名 参加)
- ・ステップアップ接遇(クレーム対応)…………… (会員1名 参加)
- ・ホームネットワーク接続サービス…………… (会員1名 参加)

[職員対象]

- ・適正就業のガイドラインについて..... (職員 8 名 参加)
- ・高齢者ひとり世帯等サポート事業..... (職員 2 名 参加)
- ・シルバー事業情報交換会議..... (職員 3 名 参加)
- ・人権、非行防止、個人情報保護..... (職員 2 名 参加)
- ・シルバー保険事故対応力向上研修..... (職員 1 名 参加)
- ・会員拡大・就業開拓担当者会議..... (職員 1 名 参加)
- ・キャラバンメイト養成研修..... (職員 1 名 参加)
- ・ハードクレーム..... (職員 2 名 参加)
- ・総会運営について～事前準備のポイント～..... (職員 2 名 参加)
- ・第一回転倒予防講習..... (職員 1 名 参加)
- ・新任主任研修..... (職員 1 名 参加)
- ・就業開拓勉強会..... (職員 1 名 参加)
- ・スマホ講師養成講座..... (職員 1 名 参加)
- ・公益社団法人会計の基礎..... (職員 1 名 参加)
- ・就業開拓研修会..... (職員 1 名 参加)
- ・決算実務..... (職員 1 名 参加)

③ 第 2 ブロック合同研修

- ・情報交換..... (職員 4 名 参加)

[安全就業会員対象]

- ・安全就業会員研修..... (安全管理委員 1 名 参加)

④ 全国シルバー人材センター事業協会の研修等

[職員対象]

- ・派遣元責任者研修..... (職員 2 名 参加)

3. 生きがいの充実、社会参加を図るための社会奉仕活動（定款第4条第1項第3号）

（1）社会奉仕活動

① 区内駅周辺の清掃

年4回実施

ア 実施日時及び参加人数

- | | | |
|-----------------|-------------|-----|
| ・ 令和7年 6月14日(土) | 午前11時から正午まで | 58名 |
| ・ 令和7年 9月25日(木) | 午前11時から正午まで | 55名 |
| ・ 令和7年12月 6日(土) | 午前11時から正午まで | 53名 |
| ・ 令和8年 3月19日(水) | 午前11時から正午まで | 55名 |

イ 実施場所

- ・ 鍛冶橋通り・新大橋通り(八丁堀周辺)
- ・ 人形町商店街(人形町周辺)
- ・ 清澄通り(月島駅・勝どき駅周辺)
- ・ 晴海通り(勝どき駅周辺)

② ひとり暮らし高齢者等の見守り（中央区高齢者福祉課付帯事業）

区の「地域の見守りネットワーク」に参加しており、区からの委託事業である「暮らしの困りごとサポート」業務に従事した会員が、必要に応じて訪問先のひとり暮らし高齢者や高齢者のみの見守り等を行った。

（2）東京マラソンボランティアへの参加

開催日時 令和8年3月1日(日) 午前9時50分から11時35分まで

参加人数 6名

活動場所 コレド日本橋前(10キロフィニッシュ前)

4. 就業・社会奉仕活動に関する調査研究、相談及び企画運営（定款第4条第1項第4号）

（1）就業に関する調査研究

例月の理事会において、前月の事業実績を報告し、正会員数と就業実人数の推移や就業率の変化など、前年実績等と比較し分析を行った。

（2）就業に関する相談

入会登録した会員が、早期に就業できるよう、新入会員研修会を開催し、きめ細やかな説明を行った。

また、就業情報を整備し、センターのホームページや掲示板への掲載のほか、機関紙配布時に同封するなど、会員への情報提供に努めた。

こうした取組みに加え、就業専門員が中心となり、随時相談に応じるほか、未就業者に対する個別の就業相談を実施した。

- ・仕事案内 月に2回更新
- ・個別就業相談 参加者数：19名（再掲）

（3）顧客・会員満足度調査の実施

今後のセンター運営並びに業務の改善等に役立てるとともに、第5次中央区シルバー人材センター中期計画の策定に向けた基礎資料とするためのアンケート調査を実施した。

- ・顧客満足度調査 調査数400団体(人) 回収数211団体(人) 回収率52.8%
- ・会員満足度調査 調査数788人 回収数537人 回収率68.1%

5. その他事業の目的を達成するために必要な活動(定款第4条第1項第5号)

【普及啓発活動の推進】

（1）インターネットの活用

センターのホームページを見やすくわかりやすいものにするため、常に内容の改善を図っている。また、随時、講座案内等の更新を行うとともに、「会員募集」「就業情報」の発信や、事業者等に対する受注促進のためのPRを行った。

さらに、センターの業務・財務等の情報を掲載するなど、情報開示に努めている。

(2) パンフレット・チラシの配布

- ① パンフレットや各種リーフレットを常時、センター内の展示台に置き、来所者に配布するとともに、関係方面に配布して事業内容の周知に努めた。
- ② 中央区が開催している経営セミナー会場でのチラシの配架
- ③ 会員募集・就業開拓を含むチラシを 81,300 枚作成し、戸別配布を行った。(再掲)

(3) 機関紙「シルバーのあゆみ」の発行・配布

会員間の交流促進や会員の意識啓発を図るため、機関紙「シルバーのあゆみ」を年4回発行した。また、センター活動への理解・協力を得るため、中央区や東京しごと財団、都内58センター及び区内の町会、自治会や各種団体等に送付した。

なお、1月発行の142号については、新年の挨拶とセンターをPRするため、発注者にも配布した。

① 広報委員会

令和7年度の発行方針の決定及び編集作業等 年4回開催

② 発行実績

- ・ 第139号（令和7年 4月30日発行）
- ・ 第140号（令和7年 7月30日発行）
- ・ 第141号（令和7年10月30日発行）
- ・ 第142号（令和8年 1月 1日発行）

(4) 広告掲載

- ① 中央区高齢者クラブ連合会の会報「やまびこ」に広告を掲載した。（年1回）
- ② 中央区が運行するコミュニティバス（愛称「江戸バス」）で車内放送と窓上ポスターによる広告を実施した。
- ③ 中央区が使用する窓口封筒に広告を掲載した。
- ④ 中央区内の東京メトロ及び都営地下鉄全24駅構内にポスターを掲出(4週間)した。

(5) 中央区広報紙への掲載

「区のおしらせ ちゅうおう」に、シルバー人材センターの会員募集と仕事の発注依頼について、年3回掲載したほか、地域貢献の一環としても実施している「高齢者向けパソコン教室」を年8回、「写経教室・毛筆教室」を併せて年6回掲載した。

(6) 中央区の刊行物への掲載

区政年鑑、高齢者福祉事業のしおり、生涯学習情報誌、わたしの便利帳等中央区の刊行物にセンター事業の紹介及び講習の案内を掲載した。

(7) 統一広域広報（都内58シルバー人材センターとの同時開催）

他のシルバー人材センターとの共催イベント「令和7年度これからシルバー応援フェスタ」において、パンフレットを配布するなどのPR活動を行った。

(8) 東京しごと財団50周年イベントへの参加

東京しごと財団主催のイベント「Tokyo シルバー50周年フェス」を都内シルバー人材センターとともに共催し、パンフレット配布や木目込み人形サークルの作品展示などのPR活動を行った。

【安全就業活動の推進】

(1) 会員の安全意識の啓発

会員の安全就業を組織的に推進するため、安全管理委員会において「令和7年度安全対策実施計画」を策定した。

また、機関紙に季節に応じた安全就業意識の啓発記事を掲載するとともに、新規入会会員に「安全のしおり」を配布するなど、会員に対する安全就業意識の啓発を行った。

(2) 安全管理委員会

会員の安全就業推進と健康増進のための取組について審議を行った。

・開催数：3回

(3) 安全就業パトロール

① 安全管理委員会のパトロール

[第1回]

- ・実施日 : 令和7年7月23日
- ・実施場所 : 徒渉池管理業務(久松児童公園内)・区立駐輪場管理整理業務(日本橋)

[第2回]

- ・実施日 : 令和7年7月24日
- ・実施場所 : 徒渉池管理業務(月島第二児童公園内)・区立駐輪場管理整理業務(月島)

[第3回]

- ・実施日 : 令和7年10月9日
- ・実施場所 : リサイクルハウスかざぐるま八丁堀管理整理業務・京華スクエアの管理整理業務

[第4回]

- ・実施日 : 令和7年11月11日
- ・実施場所 : 植栽剪定就業現場

② 東京しごと財団指導員によるパトロール

- ・実施日 : 令和7年9月8日
- ・実施場所 : リサイクルハウスかざぐるま箱崎町管理整理業務・マンション清掃現場

(4) 熱中症対策講習

- ・実施日 : 令和7年5月27日
- ・実施場所 : 新富区民館
- ・参加者数 : 39名

(5) 安全就業標語の募集

東京しごと財団が実施している令和8年度安全就業標語のセンター推薦作品の募集を、機関紙や交流広場で全会員に呼びかけた。応募作品については、安全管理委員会において選考を行い、次の作品を推薦した。

【 テーマ 1 】 転倒予防と健康管理

「大丈夫」 その油断こそ 要注意
高齢者 転倒事故は 命取り
日頃から 足腰鍛えて 無理をせず

【 テーマ 2 】 自転車事故防止

ゆずりあい ハンドルよりも ブレーキで
歩道注意、 歩行者優先を忘れるな！
急ぐまい 急ぐ心に 事故潜む

(6) 事故報告

令和7年度は、シルバー総合保険の申請を行った傷害事故が12件、賠償事故は1件であった。安全管理委員会において事故の要因分析を行い、機関紙にて会員への周知及び注意喚起を図った。

① 傷害事故

発生月	傷害事故の概要及び被害状況	
4月	就業箇所へ自転車で向かう途中、橋の坂道でバランスを崩して転倒。右顔面打撲。	通院1日
5月	就業中、机の拭き掃除の際、机の脚に左足がひっかかり転倒。背中を強打。左第八胸椎圧迫骨折。	入院16日 通院2日
6月	就業先へ向かう途中、縁石で足を捻った。左足関節捻挫。	通院2日
7月	就業で外出中、歩道の窪みに気が付かず転倒した。右上肢・下肢打撲挫傷。	通院5日
7月	就業事務所入口を通過の際にバランスを崩して転倒、目の前の壁に頭と右足を強打した。頭部・右足打撲挫傷。	通院2日

発生月	傷害事故の概要及び被害状況	
7月	就業中、ドアに足が引っ掛かり転倒。腰部を強打した。仙骨骨折。	通院60日
8月	就業中、電話線に躓き転倒。手指(左)・下肢(左右)打撲挫傷。	通院47日
10月	厨房で就業中、急ぎ振り向いた際、食器棚に左頭部を激突。頭部裂傷。	通院3日
11月	自転車で車道を走りながら帰宅中、反対車線の工事車両に気を取られ、車道と歩道の段差に気づかず転倒。右鎖骨骨折。	通院11日
11月	清掃作業中、外扉を開けた際に、強風に煽られ勢いよく閉まり頭部強打。頭部打撲及び、両膝・左手首打撲傷。	通院12日
2月	就業からの帰り道のバス乗車時に、バス停のある歩道とバスのステップの間を踏み外し、右前側方向に転倒。右橈骨遠位端骨折、他打撲・疼痛等。	通院中
3月	受付業務の際、忘れ物を届けようと出口へ向かう途中、バランスを崩し壁に激突。鎖骨骨折。	通院中

② 賠償事故

発生月	賠償事故の概要及び被害状況
8月	トイレ清掃時便座を開閉していた際、便座の一部を破損。異音が生じた時点ですぐに発注者へ報告。破損部品交換。

【就業の公平化・適正化の推進】

(1) 公益社団法人としての適正運営への対応

① 「就業適正委員会」の開催

公益社団法人においては、法人運営における公平性・公正性が強く要請されるため、当センターでは、理事会の諮問機関として「就業適正委員会」を設置している。この委員会では、公平・公正な就業機会の提供を行うため、「就業の適正化・公平化に関する仕組み」に基づき、3カ月ルールの適用及び長期継続就業に係る就業終了者の選定並びに令和8年度長期継続就業に係る新規就業希望者の面接・評定を行った。

② 就業の適正化・公平化の仕組みの適用状況

「就業の適正化・公平化の仕組み」に基づく、長期間就業の是正などルールを的確に運用した。

ア 令和7年度就業終了の状況

- ・長期間就業ルール（８０歳又は５年以上）による終了者：３２名
- ・その他（本人都合・受注終了）による終了者：１２名

イ 継続的業務に係る新規就業申込み状況

- ・募集人数：５５名
- ・面接受験者：５２名（延べ人数９３名）
- ・内定者：３０名

ウ 継続的業務に係る継続就業の申込状況

- ・前年度から引き続く、同一業務への就業を希望した会員数：３４０名

③ 新規就業者業務別説明会の開催

年度当初からの円滑な業務遂行を期するため、新規就業者を対象として３月に業務別
に開催し、就業ルールの説明、仕事別グループリーダー等による各業務内容の説明を行っ
た。

【その他】

（１）専門委員会活動

理事、会員から構成される「広報委員会」「安全管理委員会」「就業適正委員会」を設
置し、機関紙の編集・発行、安全に働くための実施計画の策定・事故の分析と対策、
就業の公平化・適正化の推進を行った。

（２）仕事別グループの設置

自主・自立及び共働・共助の理念に基づいて、会員が主体となって仕事を遂行できる
よう「仕事別グループ」を設置し、リーダー・サブリーダーを委嘱している。

- ・グループ数：２２グループ
- ・リーダー：２２名
- ・サブリーダー：１８名

（３）会員の交流広場

会員同士の交流を促進するため、京華スクエア１階コミュニティールームにおいて、

毎月初日及び2日目の就業報告書持参の機会を活用して「会員の交流広場」を開催した。その際、理事が交替で会場に詰め、会員から出された意見・要望をセンターの運営に反映させている。

・参加者数 : 延5, 261名（令和6年度 延5, 381名）

（４）無料職業紹介事業「シルバーワーク中央」との連携

区民に適切な就業紹介を行うため、中央区社会福祉協議会が運営する「シルバーワーク中央」と日常的に相互連携を図っている。

（５）事務局長会・実務担当者会等への出席

〔東京しごと財団〕

・実務担当者会 : 1回
・事務局長会 : 3回

〔第2ブロック〕

・事務局長会 : 3回
・実務担当者連絡会 : 5回

（６）サークル活動への支援

会員相互の親交を図るとともに、会員の生きがいづくりにつなげるによりセンター活動の活発化に資するため、パソコンサークル、華道サークル、カラオケ同好会（つつじの会）、木目込み人形サークル及び手編みサークルに会場提供などの支援を行った。

（７）カレンダーの作成・配布

就業予定の書き込みができる特注カレンダーを700部作製し、会員及び発注者など関係者に配布した。

（８）国の制度改正等に伴う対応

フリーランス法(※)の趣旨を踏まえた契約方法の見直し（発注者、会員及びシルバー人材センターの三者による包括契約）について、国・公益社団法人全国シルバー人材セ

ンター事業協会の方針を踏まえ、中央区との契約に関して、令和8年度から実施できるよう準備・調整を行った。

(※) 特定受託事業者に係る取引の適正化に関する法律

6. 総会及び理事会の開催状況

開催月日	会議の名称	主な議決・承認事項
4月16日	第1回 理事会	・ 会員入会承認及び退会報告の件 ・ 令和7年度(西暦2025年度)定時会員総会招集の件 ・ 理事の任期満了に伴う取扱いの件 ・ 事業実施状況(3月期分)の報告
5月16日	第2回 理事会	・ 会員入会承認及び退会報告の件 ・ 「定款変更」議案の修正について ・ 令和7年度定時会員総会招集通知の件 ・ 令和7年度定時会員総会における議決権行使の件 ・ 監事の監査報告の件 ・ 令和6年度事業報告・計算書類の報告の件 ・ 定款の一部変更の件 ・ 理事10名の選任の件 ・ 復代理人の選任の件 ・ 定時会員総会運営の件 ・ 第1回清掃ボランティア活動実施の件 ・ 事業実施状況(4月期分)の報告
6月17日	令和7年度 定時会員 総会	・ 監事の監査報告の件 ・ 令和6年度事業報告の件 ・ 令和6年度計算書類等の報告の件 ・ 定款の一部変更の件 ・ 理事10名の選任の件 ・ 令和7年度事業計画・収支予算の件
6月17日	第3回 理事会	・ 三役選任の件 ・ 会員入会承認及び退会報告の件 ・ 令和6年度会費未納による会員資格喪失予定者の件 ・ 各種委員会の委員選任の件 ・ 事業実施状況(5月期分)の報告 ・ 第1回清掃ボランティア活動実施結果の報告 ・ 熱中症対策(応急措置の手順の策定)について
7月16日	第4回 理事会	・ 会員入会承認及び退会報告の件 ・ 事業実施状況(6月期分)の報告 ・ 中央区健康福祉まつり2025の報告

開催月日	会議の名称	主な議決・承認事項
		・区のシルバー人材センターへの発注について
9月18日	第5回 理事会	・会員入会承認及び退会報告の件 ・東京しごと財団における準則等の改正に伴う規程等の改正の件 ・新しい契約方法(包括契約)への移行及び契約書類・規約等の策定について ・包括契約に係る規程等の改正の件 ・令和8年度シルバー人材センター予算の概要 ・中央区健康福祉まつり 2025 の参加者 ・事業実施状況(7・8月期分)の報告 ・公益認定法における収支相償への対応について ・安全管理委員会巡回視察実施の報告 ・東京しごと財団安全就業パトロール実施の報告 ・東京都最低賃金の改定に伴う、請負金額、配分金の一部改定について ・お客様満足度調査・会員意識調査実施の件
10月16日	第6回 理事会	・会員入会承認及び退会報告の件 ・接遇研修実施の件 ・第2ブロック合同役員研修会参加の件 ・事業実施状況(9月期分)の報告 ・第2回清掃ボランティア活動実施結果の報告 ・監事監査の報告 ・代表理事・業務執行理事の職務執行状況の報告
11月18日	第7回 理事会	・会員入会承認及び退会報告の件 ・新年懇親会開催の件 ・事業実施状況(10月期分)の報告 ・長期継続就業作業スケジュールの報告
12月18日	第8回 理事会	・会員入会承認及び退会報告の件 ・令和8年度長期継続就業に係る就業終了及び募集の件 ・事業実施状況(11月期分)の報告 ・第3回清掃ボランティア活動実施結果の報告 ・地下鉄駅構内へのポスターの掲示について ・東京都への収支相償に係る対応策の提出並びに公益充実資金の保有について
2月18日	第9回 理事会	・会員入会承認及び退会報告の件 ・事業継続計画(BCP)の改定の件 ・事業実施状況(12・1月期分)の報告 ・令和8年度長期継続就業に係る申込状況の報告 ・東京マラソン 2026 ボランティア活動の件 ・接遇研修実施結果の報告

開催月日	会議の名称	主な議決・承認事項
		・令和7年度お客様満足度調査・会員意識調査報告書の概要
3月17日	第10回 理事会	・会員入会承認及び退会報告の件 ・規程の改正等の件 ・特定費用準備資金等取扱規程の改正の件 ・公益充実資金の保有に係る承認の件 ・令和8年度事業計画の件 ・令和8年度収支予算の件 ・令和8年度資金調達及び設備投資の見込みの件 ・令和8年度事業の内容の件 ・令和8年度役員賠償責任保険加入の件 ・令和8年度交流広場実施要領の件 ・事業実施状況（2月期分）の報告 ・令和8年度長期継続就業の新規就業会員決定の報告
3月31日	第11回 理事会	・財務規程の改正の件 ・令和7年度補正予算の件 ・令和8年度仕事別リーダー・サブリーダー委嘱の件 ・未収金の貸倒処理について ・代表理事及び業務執行理事の職務執行状況報告

貸借対照表

令和8年3月31日現在

(単位:円)

科目名	当年度	前年度	増減額
I 資産の部			
1 流動資産			
現金・普通預金	9,345,458	27,241,095	△ 17,895,637
未収金	39,392,942	37,176,536	2,216,406
貸倒引当金	△ 236,358	△ 223,059	△ 13,299
	39,156,584	36,953,477	2,203,107
流動資産合計	48,502,042	64,194,572	△ 15,692,530
2 固定資産			
(1) 特定資産			
退職給付引当資産	1,594,067	759,267	834,800
減価償却引当資産	782,189	2,600,428	△ 1,818,239
財政運営資金積立資産	10,000,000	10,000,000	0
創立50周年記念事業積立資産	4,000,000	3,000,000	1,000,000
特定資産取得積立資産	4,100,000	0	4,100,000
特定資産合計	20,476,256	16,359,695	4,116,561
(2) その他固定資産			
什器備品	2,895,340	2,600,430	294,910
減価償却累計額	△ 782,189	△ 2,600,428	1,818,239
	2,113,151	2	2,113,149
その他固定資産合計	2,113,151	2	2,113,149
固定資産合計	22,589,407	16,359,697	6,229,710
資産合計	71,091,449	80,554,269	△ 9,462,820
II 負債の部			
1 流動負債			
未払金	25,602,746	35,037,602	△ 9,434,856
前受金	0	0	0
預り金	1,220,447	1,697,397	△ 476,950
流動負債合計	26,823,193	36,734,999	△ 9,911,806
2 固定負債			
退職給付引当金	1,594,067	759,267	834,800
固定負債合計	1,594,067	759,267	834,800
負債合計	28,417,260	37,494,266	△ 9,077,006
III 正味財産の部			
一般正味財産	42,674,189	43,060,003	△ 385,814
(うち特定資産への充当額)	(18,882,189)	(15,600,428)	(3,281,761)
正味財産合計	42,674,189	43,060,003	△ 385,814
負債及び正味財産合計	71,091,449	80,554,269	△ 9,462,820

正味財産増減計算書
令和7年4月1日～令和8年3月31日

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増減額
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
事業収益	302,274,864	285,637,887	16,636,977
受取配分金	270,570,962	254,486,834	16,084,128
受取材料費等	3,439,290	3,467,193	△ 27,903
受取事務費	27,364,612	27,533,860	△ 169,248
トライアル就業事業収益	900,000	150,000	750,000
労働者派遣事業受託収益	1,217,446	1,549,054	△ 331,608
派遣受託収益	1,217,446	1,549,054	△ 331,608
受取会費	832,200	800,200	32,000
正会員受取会費	812,000	779,000	33,000
特別会員受取会費	1,000	2,000	△ 1,000
賛助会員受取会費	19,200	19,200	0
受取補助金等	67,886,000	61,555,137	6,330,863
受取区補助金	62,147,000	54,616,137	7,530,863
受取連合交付金	5,739,000	6,939,000	△ 1,200,000
受取利息	93,692	19,718	73,974
受取利息	93,692	19,718	73,974
雑収益	13,391	616,685	△ 603,294
雑収益	13,391	616,685	△ 603,294
経 常 収 益 計	372,317,593	350,178,681	22,138,912
(2) 経常費用			0
事業費	351,488,630	327,215,930	24,272,700
支払配分金	270,570,962	254,486,834	16,084,128
支払材料費等	3,431,480	3,467,193	△ 35,713
職員基本給	22,813,440	21,130,560	1,682,880
職員特別手当	10,931,753	9,553,314	1,378,439
職員諸手当	8,152,510	7,296,017	856,493
法定福利費	6,322,699	5,846,508	476,191
福利厚生費	258,306	258,150	156
退職給付費用	1,786,624	1,123,822	662,802
会議費	216,798	172,806	43,992
旅費交通費	424,423	398,944	25,479
通信運搬費	1,919,998	1,510,172	409,826
減価償却費	53,190	0	53,190
消耗品費	1,719,483	1,661,636	57,847
修繕費	1,200	5,500	△ 4,300
印刷製本費	1,519,613	1,201,173	318,440
燃料費	18,317	30,054	△ 11,737
賃借料	2,375,319	2,369,201	6,118
保険料	2,364,686	2,257,485	107,201
手数料	341,344	330,999	10,345
諸謝金	5,334,850	6,076,134	△ 741,284
委託費	6,267,884	3,301,174	2,966,710

科 目	当年度	前年度	増減額
租税公課	4,376,216	4,607,560	△ 231,344
貸倒引当金繰入額	204,617	21,750	182,867
雑費	82,918	108,944	△ 26,026
管理費	21,214,776	19,874,944	1,339,832
職員基本給	5,703,360	5,282,640	420,720
職員特別手当	2,732,938	2,388,329	344,609
職員諸手当	2,038,127	1,824,004	214,123
法定福利費	1,580,675	1,461,627	119,048
福利厚生費	64,577	64,538	39
退職給付費用	446,656	280,955	165,701
会議費	449,680	377,376	72,304
臨時雇賃金	55,200	129,189	△ 73,989
旅費交通費	345,738	360,744	△ 15,006
通信運搬費	1,264,937	1,060,905	204,032
消耗品費	646,106	778,217	△ 132,111
修繕費	4,800	22,000	△ 17,200
印刷製本費	546,612	527,930	18,682
賃借料	3,407,720	3,456,928	△ 49,208
保険料	55,622	54,739	883
手数料	85,336	82,750	2,586
委託費	595,509	500,247	95,262
租税公課	1,045,454	1,089,590	△ 44,136
支払負担金	125,000	105,000	20,000
雑費	20,729	27,236	△ 6,507
経常費用計	372,703,406	347,090,874	25,612,532
当期経常増減額	△ 385,813	3,087,807	△ 3,473,620
2.経常外増減の部			
(1)経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2)経常外費用			
固定資産除却損	1	0	1
什器備品除却損	1	0	1
経常外費用計	1	0	1
当期経常外増減額	△ 1	0	△ 1
当期一般正味財産増減額	△ 385,814	3,087,807	△ 3,473,621
一般正味財産期首残高	43,060,003	39,972,196	3,087,807
一般正味財産期末残高	42,674,189	43,060,003	△ 385,814
Ⅱ 正味財産期末残高	42,674,189	43,060,003	△ 385,814

財務諸表に対する注記

1 重要な会計方針

(1) 固定資産の減価償却の方法

什器備品 . . . 定額法による減価償却を実施しております。

(2) 引当金の計上基準

貸倒引当金 . . . 期末債権残高に一定率を乗じて算出した金額を計上しております。

退職給付引当金 . . . 期末退職給付の要支給額に相当する金額から中小企業退職金共済給付額を控除した額を計上しております。

(3) 消費税の会計処理は、税込方式によっております。

2 特定資産の増減額及びその残高

特定資産の増減額及びその残高は次のとおりです。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
退職給付引当資産	759,267	834,800	0	1,594,067
減価償却引当資産	2,600,428	53,190	1,871,429	782,189
財政運営資金積立資産	10,000,000	0	0	10,000,000
創立50周年記念事業積立資産	3,000,000	1,000,000		4,000,000
特定資産取得積立資産	0	4,100,000	0	4,100,000
合 計	16,359,695	5,987,990	1,871,429	20,476,256

3 特定資産の財源等の内訳

特定資産の財源等の内訳は、次のとおりです。

(単位：円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に 対応する額)
退職給付引当資産	1,594,067	—	—	(1,594,067)
減価償却引当資産	782,189	—	(782,189)	—
財政運営資金積立資産	10,000,000	—	(10,000,000)	—
創立50周年記念事業積立資産	4,000,000	—	(4,000,000)	—
特定資産取得積立資産	4,100,000	—	(4,100,000)	—
合 計	20,476,256	—	(18,882,189)	(1,594,067)

4 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりです。

(単位：円)

補助金等の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上の記載区分
補助金						
連合交付金	(公財) 東京 しごと財団	0	5,739,000	5,739,000	0	—
区補助金	中 央 区	0	62,147,000	62,147,000	0	—
合 計		0	67,886,000	67,886,000	0	—

5 退職給付関係

(1) 採用している退職給付制度の概要

退職金規程にもとづく退職一時金制度を採用しております。

(2) 退職給付債務に関する事項

① 退職給付債務	1,594,067 円
② 退職給付引当金	1,594,067 円

(3) 退職給付費用に関する事項

① 中小企業退職金共済掛金	436,740 円
② 企業年金基金掛金	961,740 円
③ 退職給付引当金繰入額	834,800 円
④退職給付費用	2,233,280 円

(4) 退職給付債務等の計算の基礎に関する事項

退職給付債務の算定にあたり、簡便法を採用しており、退職給付に係る期末自己都合要支給額から中小企業退職金共済給付額を除いた金額を退職給付引当金に計上しております。

附 属 明 細 書

1 特定資産の明細

特定資産の明細は、財務諸表に対する注記2に記載しております。

2 引当金の明細

(単位：円)

科目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
退職給付引当金	759,267	834,800	0	0	1,594,067
貸倒引当金	223,059	204,617	191,318	0	236,358

財 産 目 録

令和8年3月31日現在

(単位：円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額
(流動資産)	現金	手許現金	運転資金として	247,971
	預金	普通預金 みずほ銀行 東京都庁出張所	運転資金として	9,068,316
	預金	振替預金 ゆうちょ銀行 〇一九店	運転資金として	29,171
				9,345,458
	未収金 貸倒引当金		事業未収金他 回収不能分見込額として	39,392,942 △ 236,358 39,156,584
流動資産合計				48,502,042
(固定資産) 特定資産	退職給付 引当資産	定期預金 みずほ銀行 東京都庁出張所	職員の退職金支払いの財源として積み立てている。	1,594,067
	減価償却 引当資産	定期預金 みずほ銀行 東京都庁出張所	什器備品の耐用年数が経過した後購入するために積み立てた資産である。	782,189
	財政運営資金 積立資産	定期預金 みずほ銀行 東京都庁出張所	財政運営の変化に備えて積み立てた資産である。	10,000,000
	創立50周年記念事業 積立資産	定期預金 みずほ銀行 東京都庁出張所	周年記念行事に備えて積み立てた資産である。公益充実資金として管理されている。	4,000,000
	特定資産取得 積立資産	定期預金 みずほ銀行 東京都庁出張所	周年記念行事に備えて積み立てた資産である。公益充実資金として管理されている。	4,100,000
	特定資産合計			20,476,256
	その他固定資産			
	什器備品	紐かけ機、金庫、パソコン11台	什器備品の100%は公益目的保有財産として事業に使用している	2,113,151
	その他 固定資産合計			2,113,151
固定資産合計				22,589,407
資産合計				71,091,449
(流動負債)	未払金	支払配分金等に対する未払い額	会員に対する配分金の支払い他	25,602,746
	預り金	職員に対するもの	源泉所得税、社会保険料等	1,220,447
流動負債合計				26,823,193
(固定負債)	退職給付引当金	職員に対するもの	職員に対する退職金の支払いに備えた引当金	1,594,067
固定負債合計				1,594,067
負債合計				28,417,260
正味財産				42,674,189